

聖徒伝 189

裸の心で 主の前に

イザヤ書58～59章

イスラエルの偽善と回心

アウトライン

0. イントロダクション

I. 偽りの断食への警告 58:1~7

II. 民族的回心と救い 58:8~14

III. 罪の告発と告白 59:1~14

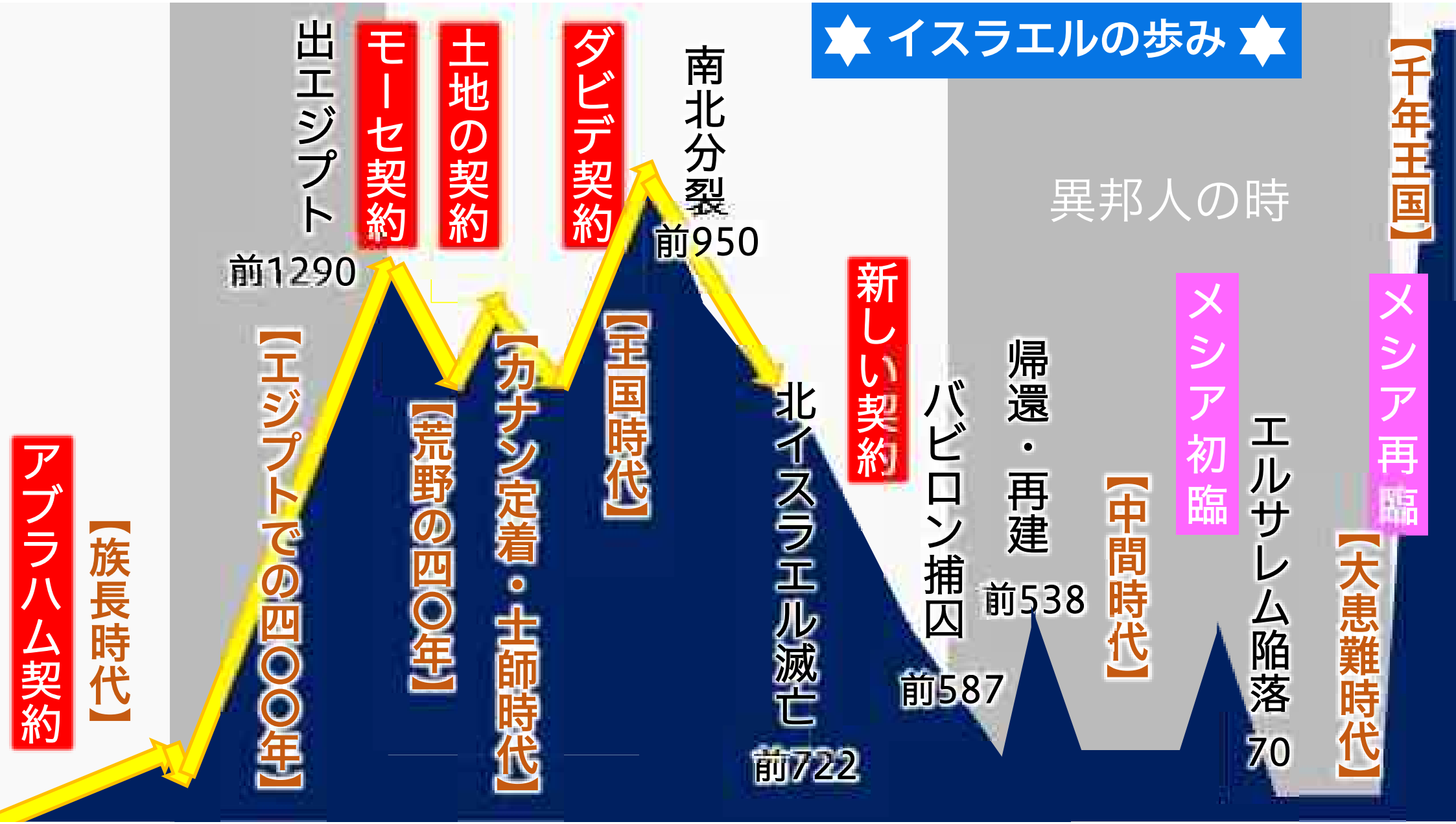
IV. 世の終わりの裁きと回復 59:15~21

V. まとめと適用

偽善からの決別 裸の心で主の前に



★ イスラエルの歩み ★



イザヤ書の構成 と イザヤの生涯

■北王国は滅亡。南王国も危機に。

→確定している裁き・バビロン捕囚

裁きの警告

■晩年のイザヤが告げたのは、捕囚を前提とした、解放の希望。

→究極の希望が、メシアによる神の王国

回復の希望

前半

後半

イザヤ書後半の構成

① 40～48章 イスラエルの戦いの終わり
→バビロン捕囚からの解放

直近の救い

② 49～57章 イスラエルの咎の赦し
→メシアによる救い

③ 58～66章 イスラエルが受けた罪の代価
→メシアによる王国

最終的救い

イスラエルが受けた罪の代価 58～66章

58～59章

イスラエルの国家的罪



60章

イスラエルの将来・神の国

61章

神の僕

62章

イスラエルとエルサレムの救い

63～64章

残れる者の悔い改めの祈り

65章

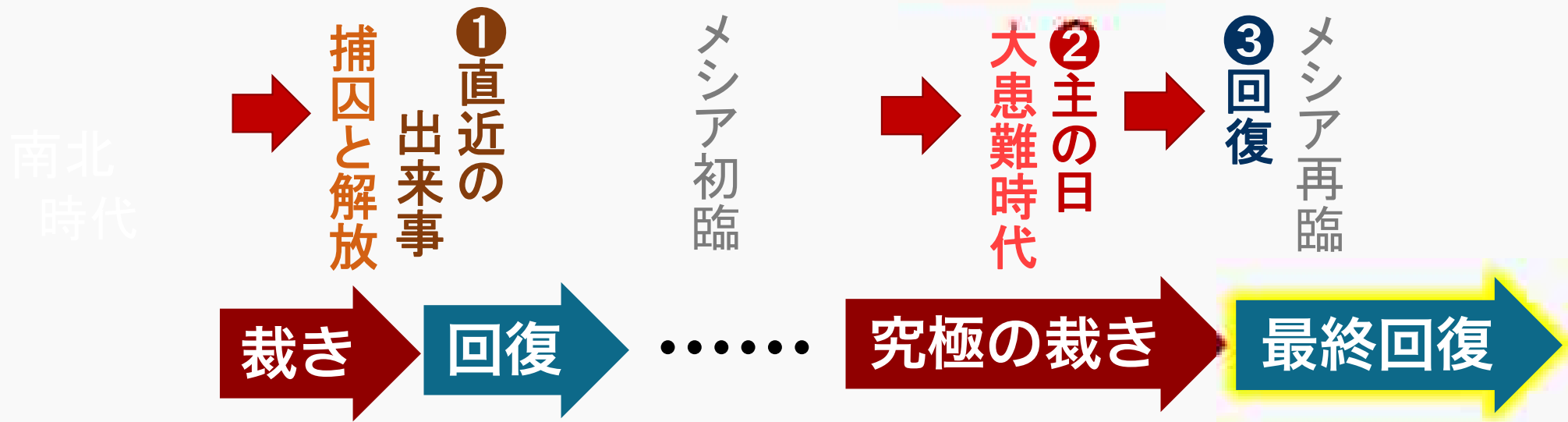
神の復活

66章

イスラエルの再生

預言書の構成







I. 偽りの断食への警告

イザヤ書58章1～7節

宣告 罪の宣告 イザヤ58:1~2

「精一杯大声で叫べ。角笛のように声をあげよ。わたしの民に彼らの背きを、ヤコブの家にその罪を告げよ。

このわたしを、彼らは日ごとに求め、わたしの道を知ることを望んでいる。義を行い、神の定めを捨てたことのない国のように、彼らは正しいさばきをわたしに求め、神に近づく*ことを望んでいる。

*公の礼拝を行う

その神への望みに根拠はあるのか？



宣告 偽りの断食 イザヤ58:3~4

『なぜあなたは、私たちが断食したのに、ご覧にならず、自らを戒めたのに、認めてくださらないのですか。』見よ。あなたがたは断食の日に自分の好むことをし、あなたがたの労働者をみな、追い立てる*。

見よ。あなたがたが断食をするのは、争いとけんかのためであり、不当に拳で殴るためだ。あなたがたが今のように断食するのでは、いと高き所に、その声は届かない。

*自分の商売を続け、すべての人を抑圧する



宣告 偽善 イザヤ58:5

わたしの好む断食、人が自らを戒める日とは、このようなものだろうか。葦のように頭を垂れ、粗布と灰を敷き広げる*ことなのか。これを、あなたがたは断食と呼び、【主】に喜ばれる日と呼ぶのか。

*悔い改めを象徴する行為

■内実の伴わない宗教的行為は無意味。



宣告 真実の解放者 イザヤ58:6~7

わたしの好む断食とはこれではないか。
悪の束縛を解き、くびきの縄目をほどき、
虐げられた者たちを自由の身とし、すべてのくびきを砕く*ことではないか。

飢えた者にあなたのパンを分け与え、家のない貧しい人々を家に入れ、裸の人を見てこれに着せ、あなたの肉親を顧みることではないか。

■ 真実の解放*をもたらすのは、メシア



主イエスの求める断食

■ マタイ福音書6:16~18

あなたがたが断食をするときには、偽善者たちのように暗い顔をしてはいけません。彼らは断食をしていることが人に見えるように、顔をやつれさせるのです。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでに自分の報いを受けているのです。

断食するときは頭に油を塗り、顔を洗いなさい。

それは、断食していることが、人にではなく、隠れたところにおられる**あなたの父に見えるように**するためです。そうすれば、隠れたところで見えておられるあなたの父が報いてくださいます。



II. 民族的回心と救い

イザヤ書58章8～14節

回復 栄光の回復 イザヤ58:8

そのとき、あなたの光が暁のように輝き出で、あなたの回復は速やかに起こる。あなたの義はあなたの前を進み、【主】の栄光があなたのしんがりとなる。

- 義と栄光を完全に帯びて、メシアは再び来られる。



回復 名声の回復 イザヤ58:9~10

そのとき、あなたが呼ぶと【主】は答え、あなたが叫び求めると、『わたしはここにいる』と主は言う。もし、あなたの間から、くびき*を除き去り、虐げの指をさすことや、邪悪なことばを取り去り、飢えた者に心を配り、苦しむ者の願いを満たすなら、あなたの光は闇の中に輝き上り、あなたの暗闇は真昼のようになる。

*ヒネイ …聖徒の応答にも用いられる。

*二頭の牛をつなぐ軛(くびき)

➔ここでは、悪魔と罪人をつなぐもの



回復 霊的健康の回復 イザヤ58:11

【主】は絶えずあなたを導いて、焼けつく土地でも食欲を満たし、骨を強くする。あなたは、潤された園のように、水の涸れない水源のようになる。

- 肉体的に必要なも、霊的渴望も、完全に満たされる。
- 信仰が強められ、常に聖霊に満たされる。

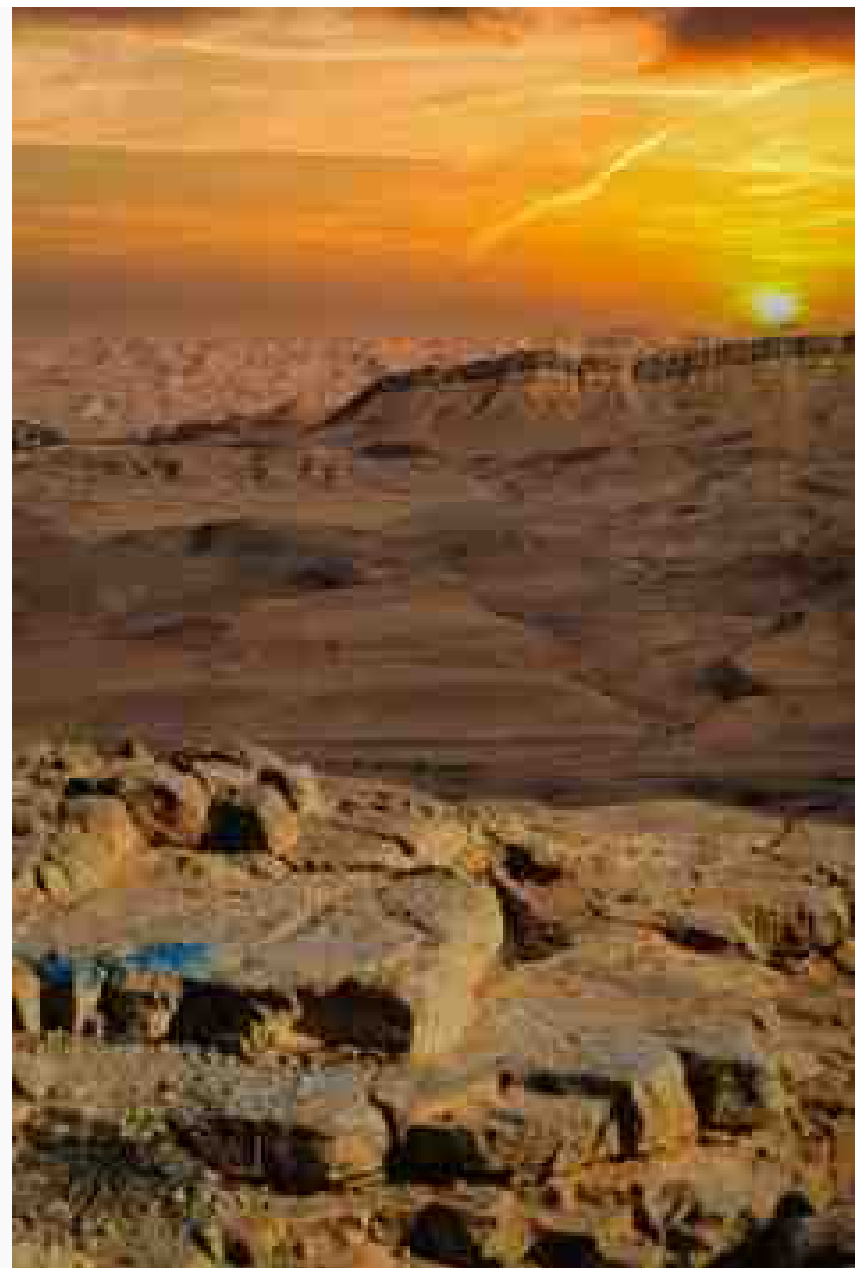


回復 町々の回復 イザヤ58:12

あなたのうちのある者は、昔の廃墟を建て直し、あなたは代々にわたる礎を築き直し、『破れを繕う者、通りを住めるように回復する者*』と呼ばれる。

*度々語られる再建者、回復者のイメージ

■回復し、繁栄するイスラエル。



回復 喜びの日 イザヤ58:13

もし、あなたが安息日に出歩くこと*をやめ、わたしの聖日に自分の好むこと*をせず、安息日を『喜びの日』と呼び、【主】の聖日を『栄えある日』と呼び、これを尊んで、自分の道を行かず、自分の好むことを求めず、無駄口を慎むなら、

*足を背ける …主を冒瀆する

*商売をする

■安息日は、モーセ契約のしるし。
律法全体を守ることの象徴。



神の王国は永遠の安息

回復 ゆずりの地で イザヤ58:14

そのとき、あなたは【主】をあなたの喜びとする。わたしはあなたに地の高い所*を踏み行かせ、あなたの父ヤコブのゆずりの地であなただを養う。——【主】の御口がそう語られる。」

*高い地位を与えられる。

■ 神の国で、最も高い地・都エルサレムで、イスラエルは主に仕える。

主を喜ぶことが、信仰者のすべて



信仰者への命令 「喜びなさい」

■ピリピ人への手紙3:1,4

最後に、私の兄弟たち、主にあって喜びなさい。

いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。



Ⅲ. 罪の告発と告白

イザヤ書59章1～14節

神殿の丘

告発 別離の原因 イザヤ59:1~2

見よ。【主】の手が短くて救えないのではない。その耳が遠くて聞こえないのではない。

むしろ、あなたがたの咎*が、あなたがたと、あなたがたの神との仕切りとなり、あなたがたの罪*が御顔を隠させ、聞いてくださらないようにしたのだ。

■イスラエルの罪*が、患難を招いた。

➡イスラエルの罪と咎*が告発されていく



告発 罪による墮落 イザヤ59:3~4

実に、あなたがたの手は血で、指は咎で汚れている。あなたがたの唇は偽りを語り、舌は不正を告げる。

義をもって訴える者はなく、真実をもって弁護する者もない。空しいことに頼り、嘘を言い、邪悪をはらみ、不正を産む。

- 知らずに犯した罪ではなく、
確信的に計略的に重ねられた罪。



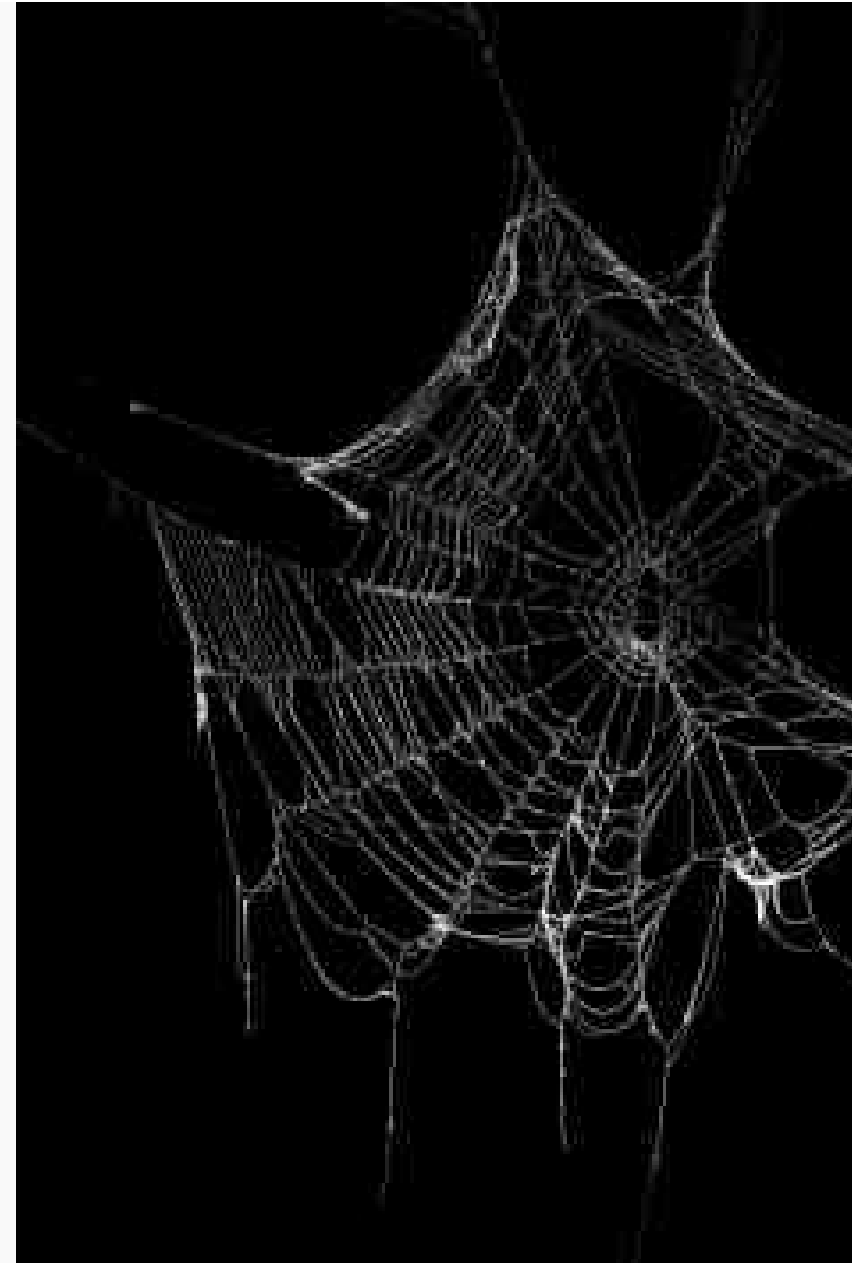
告発 不義と暴虐 イザヤ59:5~6

彼らは、まむしの卵をかえし、くもの巣を織る。その卵を食べる者は死に、卵をつぶすと毒蛇が飛び出す。

そのくもの巣は衣にはならず、自分の作ったもので身をおおうこともできない。彼らのわざは不義のわざ、暴虐の行いがその手にある。

■ 洗礼者ヨハネの叱責(マタイ3:7)

「まむしの子孫たち、だれが、迫り来る怒りを逃れるようにと教えたのか」



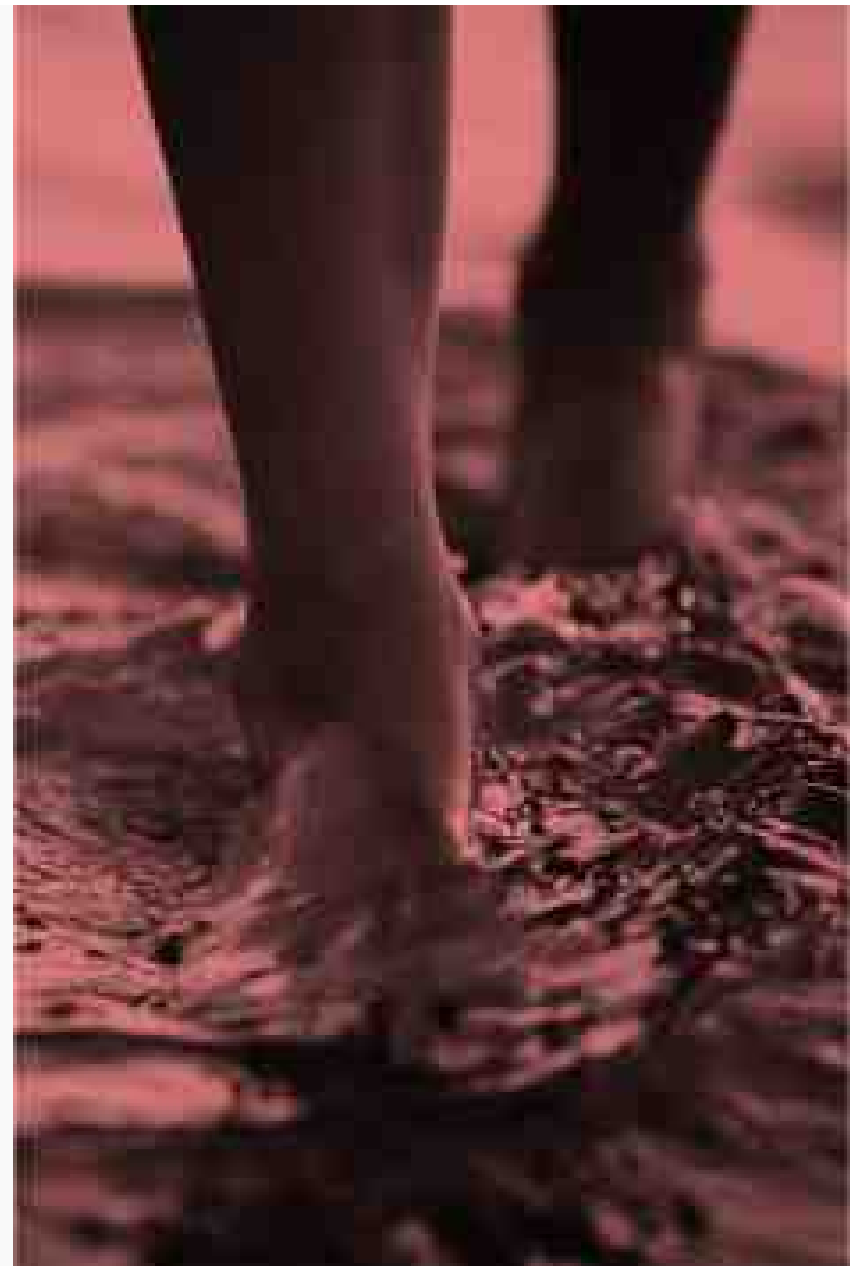
告発 暴虐の道 イザヤ59:7～8

その足は悪に走り、咎なき者の血を流すのに速い。その思いは不義の思い。暴行と破滅が彼らの大路にある。

彼らは平和の道を知らず、その道筋には公正がない。自分の通り道を曲げ、そこを歩む者はだれも平和を知らない*。

*パウロが引用 …ローマ3:17

■ 暴虐の道を歩み、信仰者を虐げる者の行く末は、滅び。



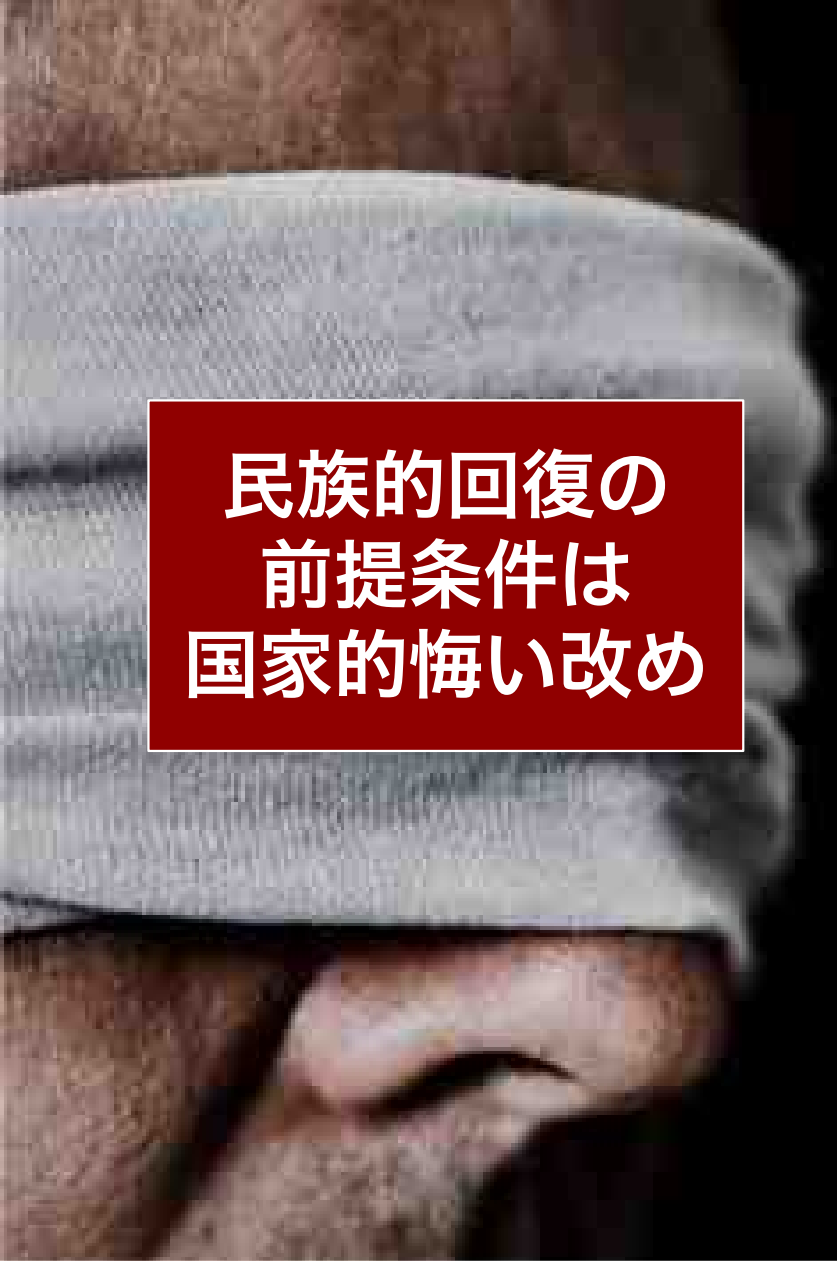
告白 闇の中で イザヤ59:9~10

それゆえ、公正は私たち*から遠く離れ、
義は私たちに届かない。私たちは光を待ち
望んでいたが、見よ、闇。輝きを待ち望ん
でいたが、歩くのは暗闇の中。

私たち*は見えない人のように壁を手さぐ
りし、目が無いかのように手さぐりする。
真昼でも、たそがれ時のようにつまずき、
強健な者の中にいる死人のようだ。

*ここから主語が、「私たち」に

→罪の告白がなされていく!!



民族的回復の
前提条件は
国家的悔い改め

告白 罪人のうめき イザヤ59:11~12

私たちはみな、熊のようにうなり、鳩のようにぶつぶつうめく。公正を待ち望むが、それはなく、救いを待ち望むが、**私たち**から遠く離れている。

それは、**私たちの**背きが御前で多くなり、**私たちの**罪が不利な証言をするからだ。まことに、**私たちの**背きは**私たち**とともにあり、**私たちは**自分の咎をよく知っている。

■ **罪の認識(認罪)**が救いに至る第一歩



告白 閉め出された真理 イザヤ59:13~14

私たちは【主】に背き、主を否んで、私たちの神に従うことをやめ、虐げと反逆を語り、心に偽りのことばをはらんで告げる。

こうして公正は退けられ、正義は遠く離れて立っている。それは、真理が広場でつまずき、正直さが中に入ることもできない* からだ。

■意識的に重ねられる罪、神への背き。

膨らみ続ける嘘、信仰者への迫害。

➔主を戸口の外へ* 最悪の状況(黙3:20)



主イエスの呼びかけ

■黙示録3:19～21

わたしは愛する者をみな、叱ったり懲らしめたりする。
だから熱心になって悔い改めなさい。

見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。
だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、
わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、
彼もわたしとともに食事をする。

勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせる。



IV. 世の終わりの裁きと回復

イザヤ書59章15～21節

高原の虹

裁き 主の御腕 イザヤ59:15~16

そこでは真理は失われ、悪から遠ざかっている者も略奪される。【主】はこれを見て、公正がないことに心を痛められた。

主は人がいないのを見て、とりなす者がいない*ことに啞然とされた。それで、ご自分の御腕で救いをもたらし、ご自分の義を支えとされた。

*真実のとりなし手がメシア



裁き 義なるメシア イザヤ59:17~18

主は義をよろいのように着て、救いのかぶとを頭にかぶり、復讐の衣を身にまとい、ねたみを外套として身をおおわれた。

主は彼らの仕打ちに応じて報い、はむかう者に憤り、敵*に報復し、島々にも報復をされる。

*裁き主として来られるメシアの姿

➔信者の姿は影(エペソ6:13~17)

*単数形…反キリスト



信者が備えるべき信仰という武具

■エペソ6:13~17

ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、一切を成し遂げて堅く立つことができるように、神のすべての武具を取りなさい。

そして、堅く立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、

足には平和の福音の備えをはきなさい。

これらすべての上に、信仰の盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢をすべて消すことができます。

救いのかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち神のことばを取りなさい。

裁き 恐れられる主 イザヤ59:19

そうして、西の方では【主】の御名が、日の昇る方では主の栄光が恐れられる。それは、主が激しい流れのように来られ、その中で【主】の息が吹きまわっているからだ。

- 再臨のメシアは、栄光の姿で来られる。
すべての者が、逃れようなく主を恐れる。



回復 贖い主 イザヤ59:20

「しかし、シオンには贖い主として来る。
ヤコブの中の、背きから立ち返る者*の
ところに。——【主】のことば。」

*イスラエルの残れる信仰者(レムナント)

■メシアの再臨(ゼカリヤ1:3~4)

「【主】が出て行かれる。決戦の日に戦う
ように、それらの国々と戦われる。

その日、主の足はエルサレムの東に面す
るオリーブ山の上に立つ。」



回復 新しい契約 イザヤ59:21

「これは、彼らと結ぶわたしの契約*である——【主】は言われる——。あなたの上にあるわたしの霊、わたしがあなたの口に置いたわたしのことばは、あなたの口からも、あなたの子孫の口からも、子孫の子孫の口からも、今よりとこしえに離れない——【主】は言われる。」

*新しい契約(エレミヤ31:31)

■福音の主イエスを信じて永遠の救いへ。

➔その究極がイスラエルの民族的救い



新しい契約

■エレミヤ31:31~33

見よ、その時代が来る—【主】のことば—。そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、新しい契約を結ぶ。

その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破った。

これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。



Ⅲ. まとめと適用

偽善からの決別 裸の心で主の前に

偽善者への主イエスの警告

■ マタイの福音書7:21～23

わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。

その日には多くの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言し、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの奇跡を行ったではありませんか。』

しかし、わたしはそのとき、彼らにはっきりと言います。

『わたしはおまえたちを全く知らない。不法を行う者たち、わたしから離れて行け。』

イスラエルの偽善者と真実のメシア

- イスラエルの長年の偽善の体現者が、パリサイ人、律法学者。
人に見せるための断食。形ばかりの礼拝、祈り。
→ 主イエスと最も激しく対立。メシアを拒絶。
- 主イエスは、偽善者たちを最も厳しく非難された(マタイ23章)
→ 外側は正しく見えても、内側は偽善と不法でいっぱい。
救いの扉を閉ざし、人々を滅びに追いやっている。
- 偽善者は、実によって見分けよと主イエスは言われた(マタイ7:6)
→ 口先ばかりの信仰で、行いを伴わない。

この時代のイスラエルの偽善者の運命

■マタイの福音書23:36～39

まことに、おまえたちに言う。これらの報いはすべて、この時代の上に降りかかる。

エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人々を石で打つ者よ。わたしは何度、めんどりがひなを翼の下に集めるように、おまえの子らを集めようとしたことか。それなのに、おまえたちはそれを望まなかった。

見よ。おまえたちの家は、荒れ果てたまま見捨てられる。

わたしはおまえたちに言う。今から後、『祝福あれ、主の御名によって来られる方に』とおまえたちが言う時が来るまで、決しておまえたちがわたしを見ることはない。」

偽善に陥ったイスラエルの運命

- 主イエスの再臨まで、イスラエルは、メシアを見ることがない。
→ 苦難の時代が続く。…離散、迫害、虐殺、反ユダヤ主義。
- 世の終わりの7年間の大患難時代。生き残ったイスラエルが、罪を告白し、ナザレのイエスこそメシアと信じ、メシアが再臨。
- 罪を贖われたイスラエルは、メシアを賛美する。
『祝福あれ、主の御名によって来られる方に』

イスラエルは、偽善から、悔い改め、民族的救いに至る

今の時代に与えられた 新しい契約の恵み

- イザヤ、エレミヤを通して予告されたのが、**新しい契約**。
 - ➔ 石や紙ではなく、心に神の法が記される(エレミヤ31:31)
- 主イエスにより、最後の晩餐で締結。十字架の贖いにより施行。
「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、**新しい契約**です。ルカ 22:20」
- 今の時代には、ただ主イエスの十字架の死と葬りと復活の福音を信じて神の怒りから救われる。
 - ➔ 信じた者に聖霊が内住。神による救いの永遠の保証。

主イエスのたとえ パリサイ人と取税人の祈り

■ルカ福音書18:10~12

「二人の人が祈るために宮に上って行った。一人はパリサイ人で、もう一人は取税人であった。

パリサイ人は立って、心の中でこんな祈りをした。『神よ。私がほかの人たちのように、奪い取る者、不正な者、姦淫する者でないこと、あるいは、この取税人のようでないことを感謝します。

私は週に二度断食し、自分が得ているすべてのものから、十分の一を献げております。』

主イエスのたとえ パリサイ人と取税人の祈り

■ルカ福音書18:13～14

一方、取税人は遠く離れて立ち、目を天に向けようともせず、自分の胸をたたいて言った。

『神様、罪人の私をあわれんでください。』

あなたがたに言いますが、義と認められて家に帰ったのは、あのパリサイ人ではなく、この人です。だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるのです。」

★ 偽善から決別しよう ★

- イスラエルが深刻な偽善に陥ったように、私たちには、偽りで身を飾ろうとする誘惑がある。他者の評価や評判を気にする心がある。
- 心の飾りを引き剥がされる、試練は恵みだと覚えよう。
裸で主の前に立ち、すぐるとき、はじめて味わわされる恵みがある。
イスラエルを裸で主の前に立たせる究極の 때가、大患難時代だ。
- 人の目ではなく、ただ主の目を、いつも心にとめていたい。
裸で生まれ、裸で帰る私たちに、主が栄光の衣を用意されている。

ただ主の憐れみを求め、主の使命に遣わされて行こう!!

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

わたし つみ とが しゅ じゅうじか う
私の罪・咎のすべてを、主イエスが十字架で受けてくださいました。

わたし こころ せいれい しょういん お
私の心に、聖霊による証印が押されています。

わたし えいえん しゅ しょう
私は永遠に、主よ、あなたの所有とされましたから、

みこころ かな み つか もち
どうか、御心に適って、この身を遣わし、用いてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」